

「スマホの危険。デートDV被害に遭わないために」に関する
アンケート調査結果報告書

平成27年3月



生野区アクションプランデートDV防止推進部会

はじめに

このたび平成26年12月～平成27年1月の間に『スマホとデートDV』に関するアンケート調査依頼をおこない、多くの中学生、高校生から回答をいただくことができました。アンケートにご協力いただきました皆さま誠にありがとうございました。

アンケート結果については竹内和雄先生（兵庫県立大学准教授）が分析するとともに、2月7日（土）の研修会で、高校生が発表をおこないました。また参加者高校生・大学生によるグループワークもおこない、少人数でしたが有意義な取組みとなりました。参加者からは『研修会に参加しなければ、デートDVのことを考えることはなかった』等の感想が寄せられました。

皆さまからお寄せいただいたアンケートはデートDVに関する予防・啓発など今後の活動に役立ててまいります。引き続き一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年3月

生野区地域福祉アクションプラン推進委員会

デートDV防止推進部会

アンケート調査の概要

○期間

平成26年12月15（月）～平成27年1月20日（火）

○ご協力いただいた方

大阪府内の中学生、高校生410名（12校）

男子：183名 女子：227名

○分析

兵庫県立大学竹内研究室

○集計

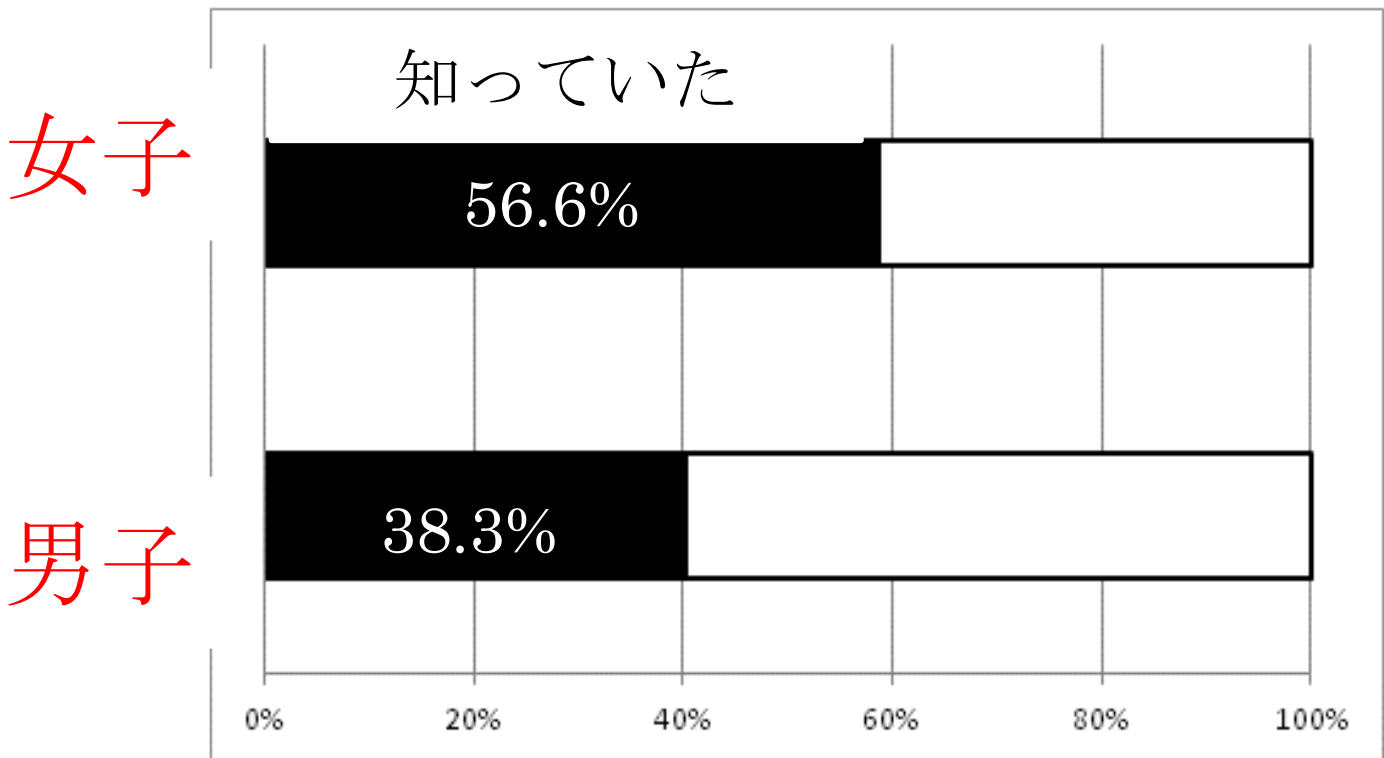
生野区社会福祉協議会

○質問項目

高校生が作成（別紙のとおり）

アンケート集計結果

問 デートDVとは「交際中の若いカップルの中で起こる暴力」のことです。知っていましたか？



半数近くが知らないことはとても危険だと思われる。また女子より男子の方が少ないのが気がかりである。

デートDVは男子が加害者のことも多く男子に知ってもらう必要があると思われる。

問 交際している人から次のようなことをされたらイヤと言えますか？

イヤと言える割合

59.4%	LINEを何度も送ってこられた	79.6%	LINEチェック
70.7%	大声でおどす	80.0%	暴力
73.2%	死ね、ブス	86.3%	お金の要求
78.7%	物をこわす	80.5%	性的な要求

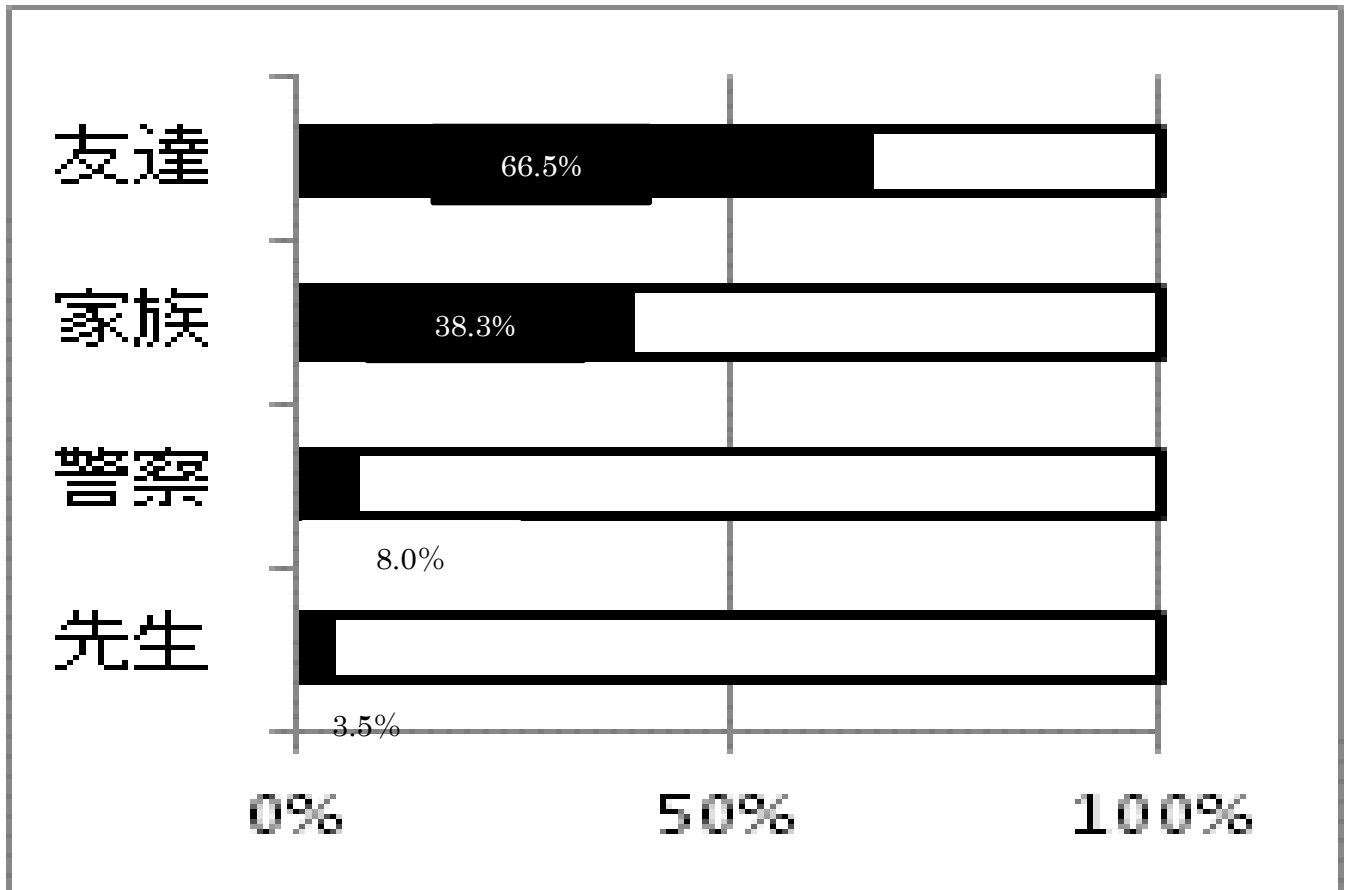
4～5人に一人が危険

4～5人に一人が、いやなことをされてもイヤと言えないと答えている。理由は「好きな人に嫌われてしまうから」などが考えられる。

暴力をされてもイヤと言えない割合が2割いることは驚きである。特に性的な関係を要求するがお金の要求より低いことが気になるところである。

問 交際している人から怖いことされたとき誰に相談しますか？

誰に相談？

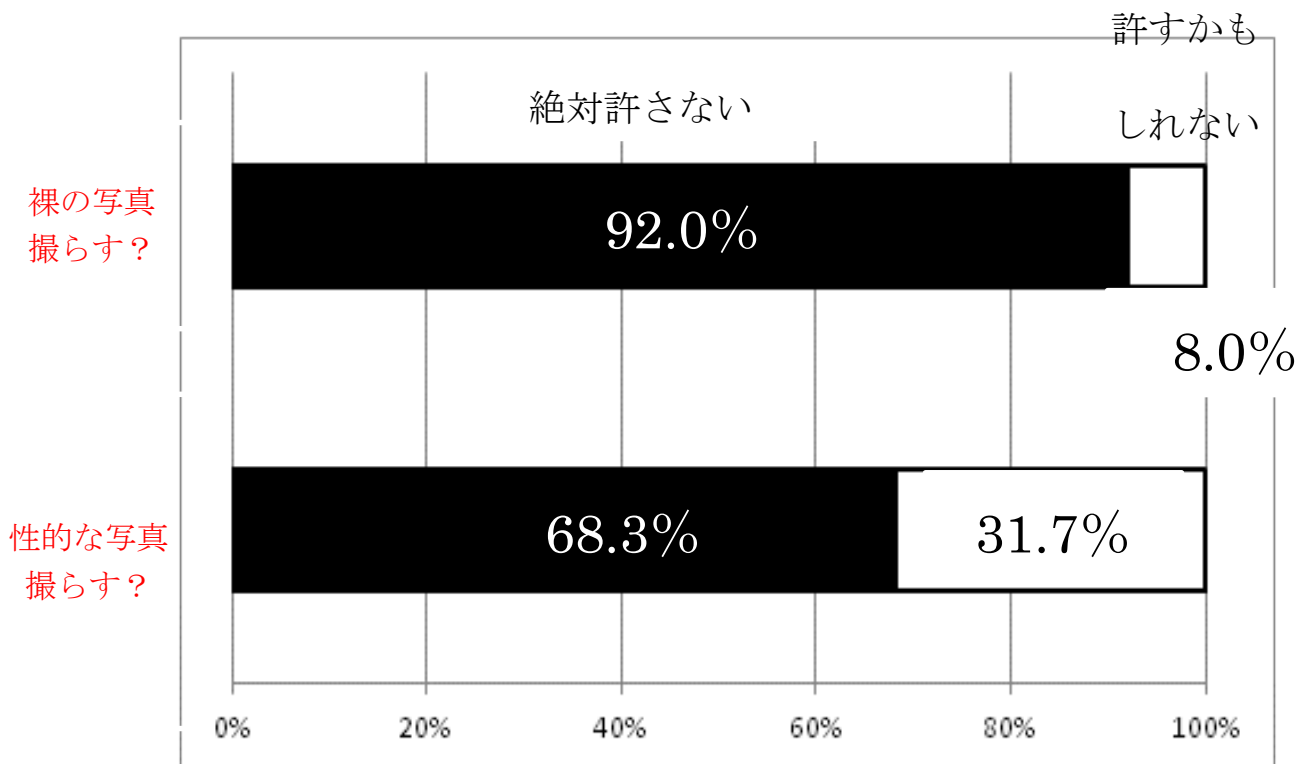


友達に相談する割合が66.5%で最も多く、次に家族に相談が多かった。

先生に相談する割合が最も低かった。

問 交際している人から下着姿や裸の写真を撮らせてと頼まれたらどうしますか？

許す？ 許さない？（女子）

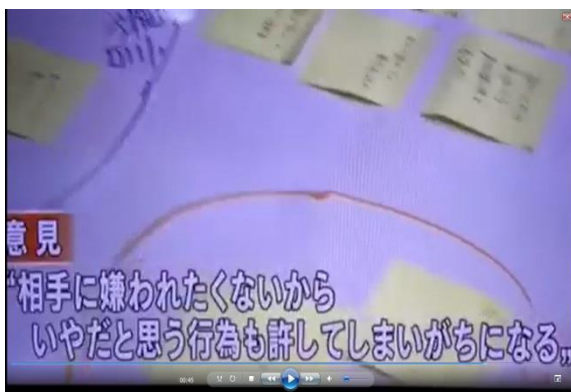
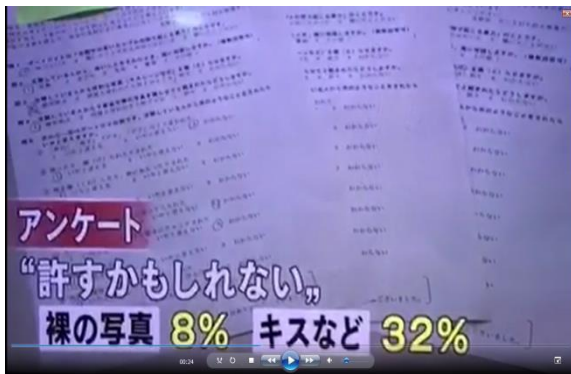
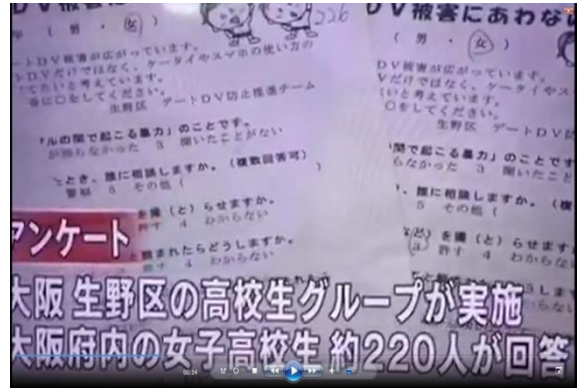


（今回のアンケートでは、【性的な写真（キスシーン）】と記載）

キスシーンなどの性的な写真は撮らせると3割が回答した。

研修会の様子がNHK ニュースで報道されました

平成27年2月23日（月）朝の関西のニュース



取組みが毎日新聞に掲載されました

『束縛』と『愛』間違えないで

高校生らが「デートDV」(交際の暴力)を考える研修
間の暴力)を考える研修
会「スマホの危険 デー
トDV被害に遭わないた
めに」が7日午後2時、
大阪市生野区勝山北3の
区在宅サービセンター
おちちやまで開かれる。
恋人に罵倒されたり、異
性の友人と話すことを制
限されたりといった「支
配」を「愛情」と思って
しまう同世代に訴えかけ
る。被言は埋もれているのが

高校生ら 同世代に訴え

7日生野で「デートDV」研修会

ようと、現役高校生が企画に加わった。実態。平山さんは「私も『死ね』『ブス』と言わ

れるのもDVだと分かっ
ていなかった。大人に一
方的に言われても聞く気
が起きないけれど、同世
代で話せば、自分ばかり
責めている人も被害に気
づけるかもしれない」と
期待している。

申し込みは、生野区社
会福祉協議会地域支援担
当(06・6712・31
1)へ。

トフォン(スマホ)の問
【林田七恵】